

奈良県の経済動向分析
2017年6月

2017年6月25日

有限会社オフィス・ビー

[1] 分析の概観

【消費（P. 2～5）】

◆奈良県の百貨店・スーパー販売額

- ・2017年1～3月の百貨店・スーパー販売額の前年同月比がマイナスになった。4月は前年同月比が少し前年を上回ったものの、全体的には減少傾向。
- ・4月は、飲食料品の販売が好調であった。インバウンド消費が貢献したものと見られる。
- ・前年同月比が浮き沈みを繰り返している。5月以降の前年同月比がプラスに転じるのか、マイナスを続けるか、注目する必要がある。

◆奈良県の新車販売台数

- ・2017年2月は、「普通車・小型車」の販売台数が、前年同月を大きく上回った。3月・4月も前年同月を上回っているが、増加率は少しずつ減少している。2017年2月・3月と前年よりも減少していた「軽自動車」の販売台数であるが、4月は大きく前年を上回った。
- ・2016年11月以降、乗用車販売台数が前年を上回る状態が続いている。今後の動きが注目される。

◆奈良市の消費者物価指数

- ・2016年11月に前年同月比がプラスに転じた「奈良市の消費者物価指数」であるが、その後も概ね増加傾向を示している。個別に見ても、前年同月を上回っている区分が増えた。

【来訪（P. 6）】

- ・11月に増加に転じた「延べ宿泊者数の前年同月比」であるが、その後も前年同月を上回る状態が続いている。「外国人延べ宿泊者数の前年同月比」の大幅な増加は止まった模様。

【生産（P. 7）】

- ・奈良県の鉱工業生産指数の前年同月比は、2016年12月以降、減少を続けている。
- ・「電気機械工業」の前年同月比の減少が大きい。大手企業の不振の影響が及んでいるように見受けられる。

【民間投資（P. 8）】

- ・2016年10・11月に大きくマイナスであった前年同月比は、12月にいったんプラスに転じた。しかし、2017年1～3月は浮き沈みを繰り返している。
- ・2017年1～3月の間、「持ち家」、「貸家」、「分譲」の住宅着工件数がやや不規則に増減しており、明らかな傾向は見取れない。今後の動向に注目する必要がある。

【公共投資（P. 9）】

- ・国関連の公共事業の前年同月比は、1月・2月に大幅な増加が見られた。
- ・奈良県関連の公共事業契約金額の前年同月比は、2月・3月がプラスで、特に3月に大幅な増加が見られた。

【雇用（P. 10）】

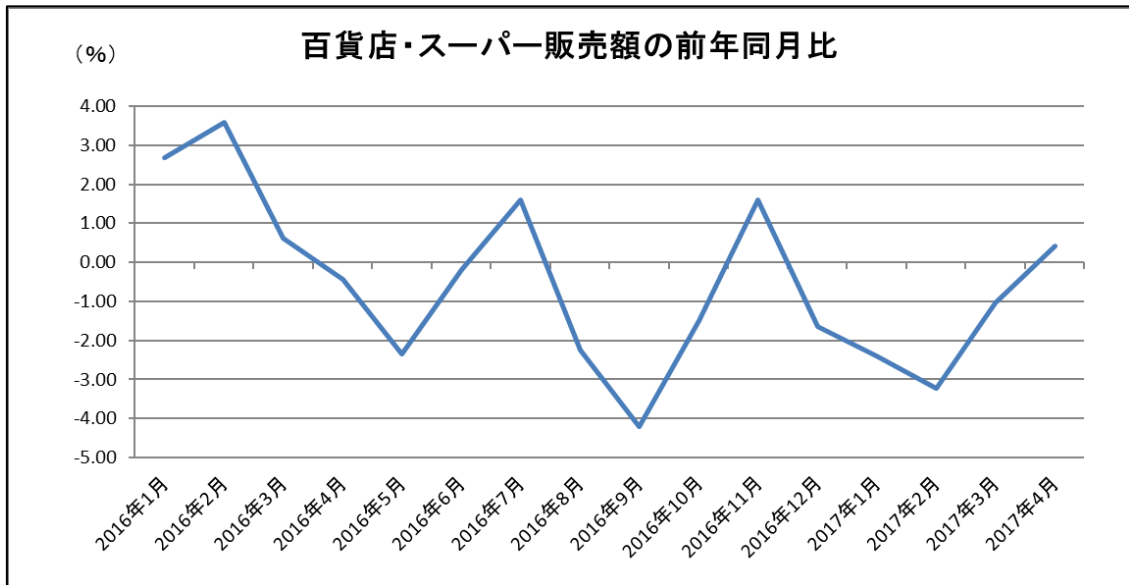
- ・新規求人倍率は、3月に低下が見られた。有効求人倍率は、1月・2月が横ばいで、3月に少し下がったが、4月にまた上昇している。
- ・4月の正社員有効求人倍率は3月よりも0.01ポイント低下したが、前年を0.09ポイント上回っている。正社員の求人数の増加が、好調の要因になっている。
- ・趨勢として、奈良県の雇用情勢は改善が続いている。

[2] 具体的な分析内容

1. 消費

(1) 奈良県の百貨店・スーパー販売額

① 前年同月比の推移・全店ベース（2017年4月は速報値）



出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

[今回のデータの考察]

- ・前回報告の2016年12月に続き、2017年1～3月も前年同月比がマイナスになった。
- ・4月は前年同月比が少し前年を上回ったものの、全体的には減少傾向にある。

[前回の考察との比較]

- ・前々回・前回と、奈良県内の百貨店・スーパー販売額の前年同月比が浮き沈みを繰り返している状況を取り上げた。それは、今回もそれは変わっていない。5月以降の前年同月比がプラスに転じるのか、マイナスを続けるか、注目する必要がある。



②直近の状況（2017年4月は速報値）

単位(百万円、%)

対 象	2017年2月		2017年3月		2017年4月・速報値		
	販売額	前年 同月比	販売額	前年 同月比	販売額	前年 同月比	
合 計	16,853	▲ 3.2	17,838	▲ 1.0	18,123	0.4	
商 品 別	衣料品計	1,737	▲ 10.6	2,033	▲ 7.3	2,210	▲ 2.5
	紳士服・洋品	366	▲ 13.3	377	▲ 13.6	435	▲ 14.1
	婦人・子供服・洋品	1,164	▲ 8.6	1,437	▲ 3.4	1,515	1.4
	その他の衣料品	207	▲ 16.2	219	▲ 18.3	260	▲ 2.1
	身の回り品	492	▲ 4.2	654	7.0	586	▲ 2.4
	飲食料品	11,502	▲ 1.6	11,723	0.1	11,886	1.1
	家具・家電・家庭用品計	632	▲ 8.9	644	▲ 7.9	642	▲ 3.0
	家具	83	▲ 4.4	76	▲ 13.1	82	▲ 1.0
	家庭用電気機械器具	117	▲ 9.7	134	▲ 7.4	106	▲ 6.8
	家庭用品	433	▲ 9.4	435	▲ 7.1	453	▲ 2.5
	その他の商品	2,410	▲ 3.1	2,688	▲ 0.6	2,710	1.2
	食堂・喫茶	80	▲ 12.0	96	▲ 7.4	89	▲ 3.4

出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

商品名	内 容 例 示
紳士服・洋品	紳士服、下着類、ワイシャツ、ネクタイ、靴下など
婦人・子供服・洋品	婦人服、子供服、下着類、ブラウス、靴下など
その他の衣料品	呉服、反物、寝装具類、和装小物、タオルなど
身の回り品	靴、履物、和・洋傘類、かばん、トランク、ハンドバッグ、裁縫用品、装身具(宝石、貴金属製を除く)など
飲食料品	飲料、和・洋酒、調味料、食肉、鮮魚、乾物、野菜、果実、菓子、パン、乳製品など
家具	和・洋家具、室内調度品、神仏具、じゅうたん、カーテン、ござなど
家庭用電気機械器具	テレビ、ラジオ、ステレオ、DVD、エアコン、電気洗濯機、電気冷蔵庫、照明器具、電気こたつ、電気ストーブ、パソコン、電話機、携帯電話機など
家庭用品	陶磁器、ガラス器、漆器、金物、荒物、ガス器具、石油ストーブ、水道器具、ミシン、編機など
その他の商品	医薬品、化粧品、洗剤、書籍、文房具、事務用品、貴金属、宝石、美術工芸品、時計、眼鏡、カメラ、ビデオテープ、CDソフト、DVDソフト、スポーツ用品、娯楽用品、がん具、電子応用がん具、ゲームソフト、楽器、園芸用品、大工用品、ペット関連商品、たばこ、喫煙具、燃料、自転車、自動車、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙おむつなど
食堂・喫茶	食堂、喫茶室、すし屋などその場で顧客に飲食させるもの

出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

[今回のデータの考察]

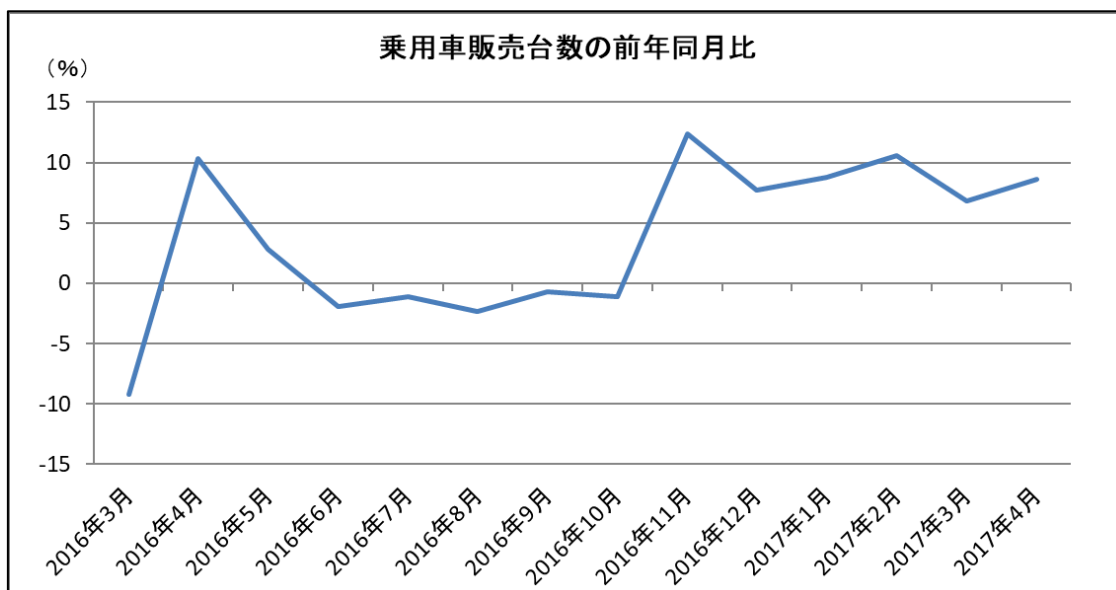
- ・2017年2月は、全ての商品販売の前年同月比が前年を下回った。3月は、「飲食料品」の販売額が少しだけ前年を上回ったが、全体の販売額も前年同月を下回った。
- ・4月は、飲食料品の販売が好調で、全体の販売額も前年同月を上回った。インバウンド消費が貢献したものと見られる。

[前回の考察との比較]

- ・「家具・家電・家庭用品」と「食堂・喫茶」については、前回に続いて販売額の減少傾向が続いている。

(2) 奈良県の乗用車販売台数

① 前年同月比の推移



出典：奈良運輸支局・奈良軽自動車協会

② 直近の状況

単位(台、%)

対 象	2017年2月		2017年3月		2017年4月	
	販売台数	前年同月比	販売台数	前年同月比	販売台数	前年同月比
合 計	4,523	10.6	6,076	6.8	3,128	8.6
普通車・小型車	2,366	54.7	4,034	13.4	1,965	3.0
軽自動車	1,494	▲ 2.4	2,042	▲ 4.3	1,163	19.5

出典：奈良運輸支局・奈良軽自動車協会

[今回のデータの考察]

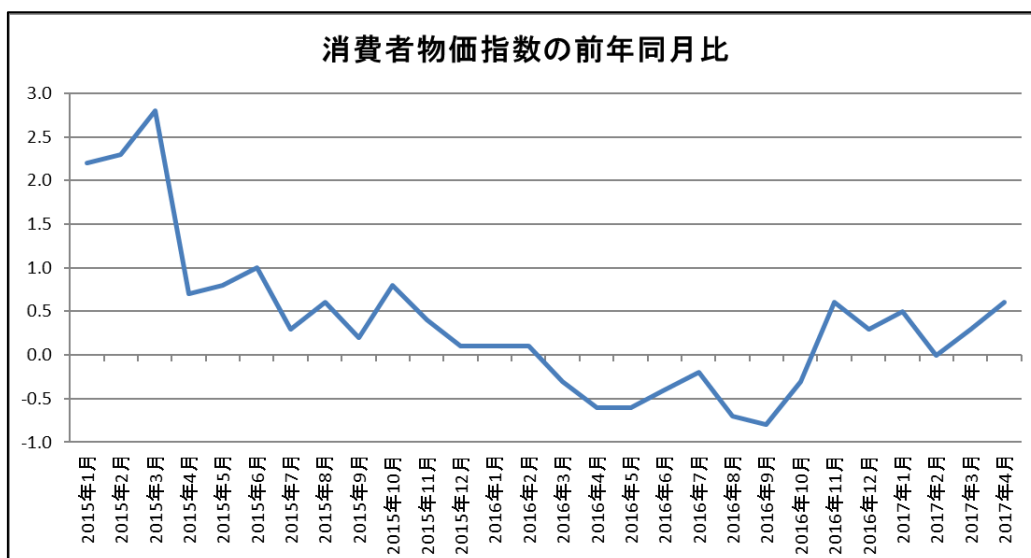
- ・2017年2月は、「普通車・小型車」の販売台数が、前年同月を大きく上回った。3月・4月も前年同月を上回っているが、少しずつ増加率は減少している。
- ・2017年2月・3月と前年よりも減少していた「軽自動車」の販売台数であるが、4月は大きく前年を上回った。
- ・全体では、いずれの月の販売台数も前年同月を上回っている。

[前回の考察との比較]

- ・2016年11月以降、乗用車販売台数が前年を上回る状態が続いている。今後の動きが注目される。

(3) 奈良市の消費者物価指数

①前年同月比の推移（総合指標）



出典：奈良県

②直近の状況（総合指標）

単位（2015年=100）

区分	平成28年	平成29年	平成29年	前月比 (%)	寄与度	前年同月比 (%)
	4月	3月	4月			
総合	99.5	99.8	100.1	0.3	0.3	0.6
除く生鮮	99.6	99.7	99.9	0.2	0.2	0.4
除く生鮮・エネルギー	100.2	100.1	100.3	0.2	0.2	0.1
生鮮食品	98.5	103.0	104.2	1.2	0.1	5.8
食料	99.6	102.1	102.1	0.1	0.0	2.5
住居	99.8	98.9	98.9	0.0	0.0	▲ 0.9
光熱・水道	95.5	94.6	95.5	0.9	0.1	0.0
家具・家事用品	95.8	94.0	95.0	1.1	0.0	▲ 0.8
被服及び履物	102.2	100.3	100.7	0.4	0.0	▲ 1.5
保健医療	101.1	101.6	102.1	0.5	0.0	0.9
交通・通信	97.8	98.3	98.5	0.2	0.0	0.7
教育	102.6	102.9	101.8	▲ 1.0	▲ 0.0	▲ 0.7
教養娯楽	101.4	101.7	102.5	0.9	0.1	1.1
諸雑費	100.4	99.5	99.8	0.3	0.0	▲ 0.7

出典：奈良県

[今回のデータの考察]

- ・2016年11月に前年同月比がプラスに転じた「奈良市の消費者物価指数」であるが、その後も概ね増加傾向を示している。

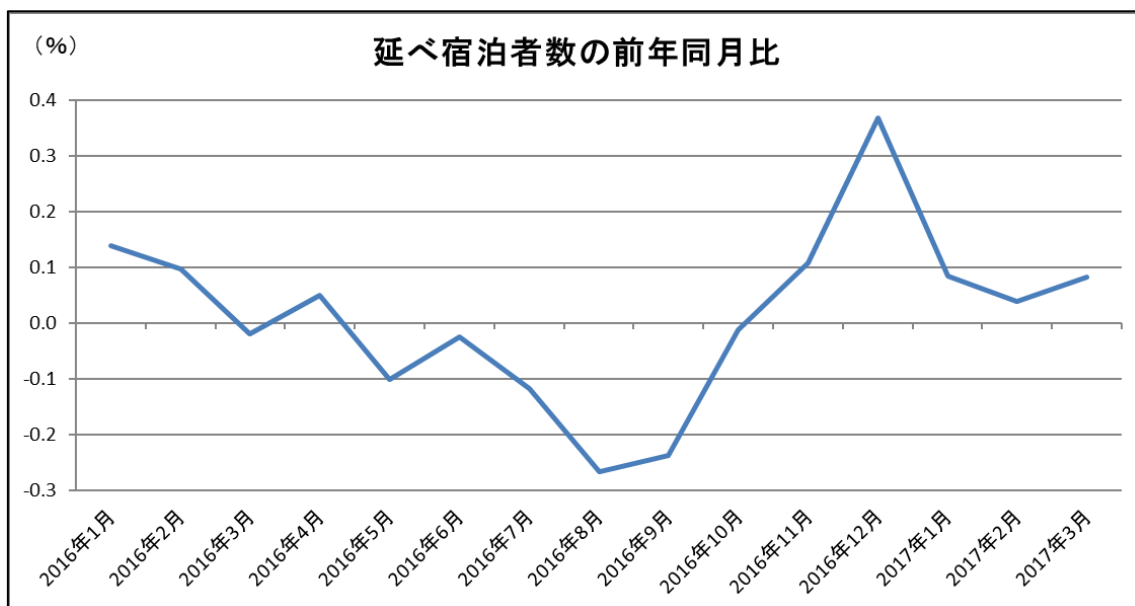
[前回の考察との比較]

- ・前回の分析に比べると、前年同月を上回っている区分が多くなった。特に、「生鮮食品」については、前回に引き続き、今回のデータでも上昇が続いている。

2. 来訪

◆奈良県内の宿泊者数

①延べ宿泊者数の前年同月比の推移

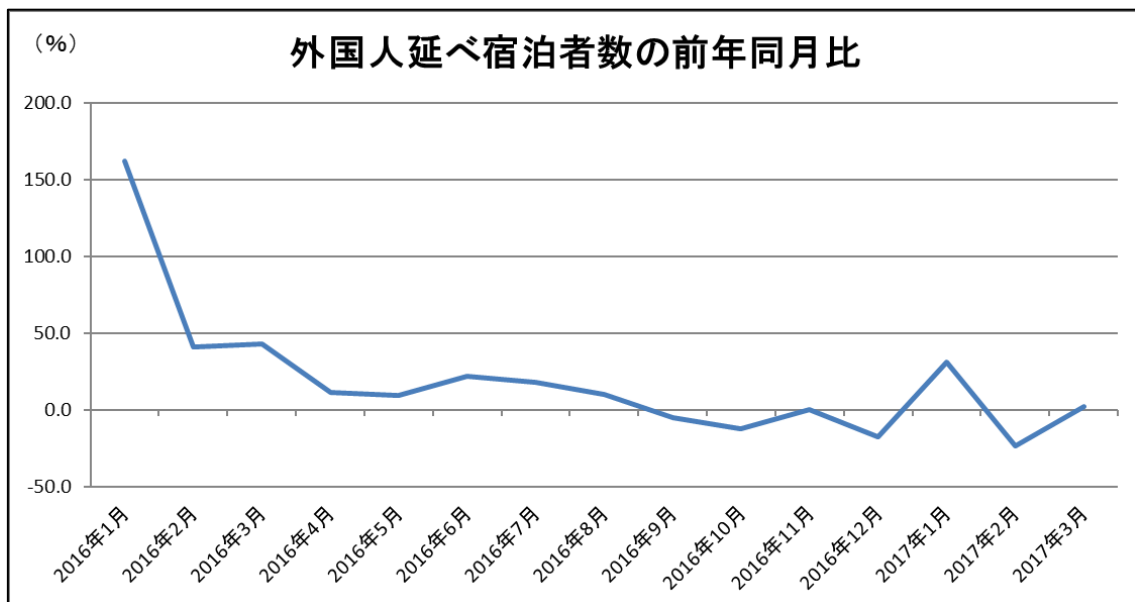


出典: 国土交通省 宿泊旅行統計調査

[今回のデータの考察]

- ・11月に増加に転じた「延べ宿泊者数の前年同月比」であるが、その後も前年同月を上回る状態が続いている。

②外国人延べ宿泊者数の前年同月比の推移



出典: 国土交通省 宿泊旅行統計調査

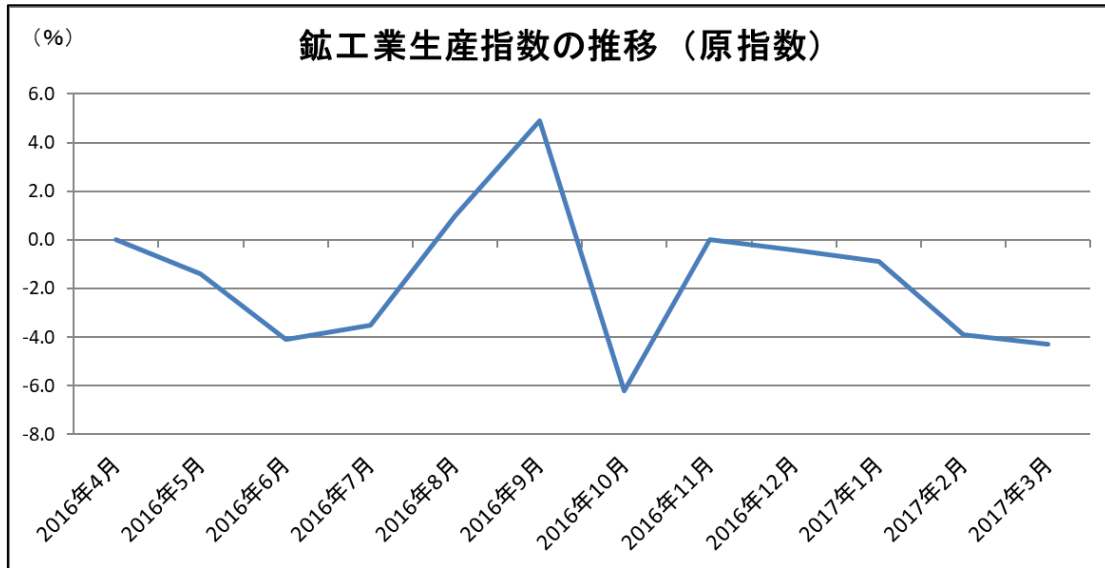
[今回のデータの考察]

- ・「外国人延べ宿泊者数の前年同月比」の推移から、インバウンド需要が大幅に増加している状況は終了したように見受けられる。
- ・2017年1～3月は、月による浮き沈みが多くなっており、今後の状況を注視する必要がある。

3. 生産

◆奈良県の鉱工業生産指数・原指数

①前年同月比の推移



出典：奈良県

[今回のデータの考察]

- ・奈良県の鉱工業生産指数の前年同月比は、2016年12月以降、減少を続けている。
- ・2017年2月以降は減少率が大きくなっており、今後の動向に注目する必要がある。

②直近の状況

単位(2010年=100、%)

対 象	2017年2月		2017年3月		2017年4月	
	指数	前年同月比	指数	前年同月比	指数	前年同月比
合 計	84.9	▲ 3.85	96.8	▲ 4.25	89.6	▲ 1.54
鉄鋼業	95.7	13.39	102.4	14.16	94.0	14.63
非鉄金属工業	87.1	▲ 0.68	93.8	7.69	78.0	▲ 1.64
金属製品工業	91.5	1.67	133.7	26.97	131.4	22.80
一般機械工業	89.2	▲ 7.66	107.8	2.47	86.9	▲ 5.44
電気機械工業	6.3	▲ 80.06	5.5	▲ 88.89	14.1	▲ 53.77
輸送機械工業	113.4	10.42	128.5	3.55	106.5	14.27
窯業・土石製品工業	102.9	▲ 0.77	125.7	9.30	112.0	7.59
化学工業	118.5	▲ 0.08	126.4	7.39	125.8	3.11
プラスチック製品工業	81.2	▲ 6.24	90.3	▲ 1.74	92.1	4.78
パルプ・紙・紙加工品工業	113.7	4.50	127.6	2.24	125.8	0.40
繊維工業	83.3	0.36	82.9	▲ 4.71	83.4	2.58
食料品・たばこ工業	96.5	1.26	105.8	▲ 2.40	107.0	▲ 3.43
その他工業	109.2	3.02	121.5	▲ 3.80	103.3	▲ 6.94

出典：奈良県

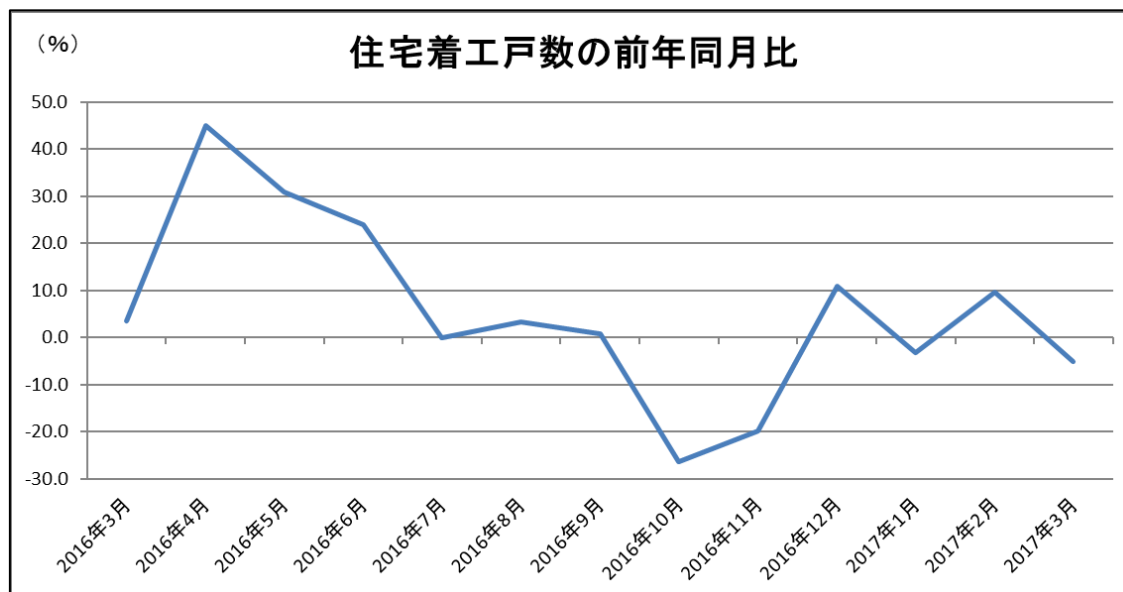
[前回の考察との比較]

- ・「電気機械工業」の前年同月比が大きく減少。大手企業の不振の影響が生じていると見受けられる。

4. 民間投資

◆奈良県の住宅着工戸数

①前年同月比の推移



出典：国土交通省 着工新設住宅戸数

[前回の考察との比較]

- ・2016年10・11月に大きくマイナスであった前年同月比は、12月にいったんプラスに転じた。しかし、2017年1～3月は浮き沈みを繰り返している。

②直近の状況

単位(戸、%)

対 象	2017年1月		2017年2月		2017年3月	
	着工戸数	前年同月比	着工戸数	前年同月比	着工戸数	前年同月比
合 計	509	▲ 3.2	547	9.6	497	▲ 5.2
持ち家	191	▲ 12.4	227	2.3	195	▲ 0.5
貸 家	127	▲ 33.5	113	18.9	165	20.4
分 譲	191	63.2	207	13.7	137	▲ 27.1

出典：国土交通省 着工新設住宅戸数

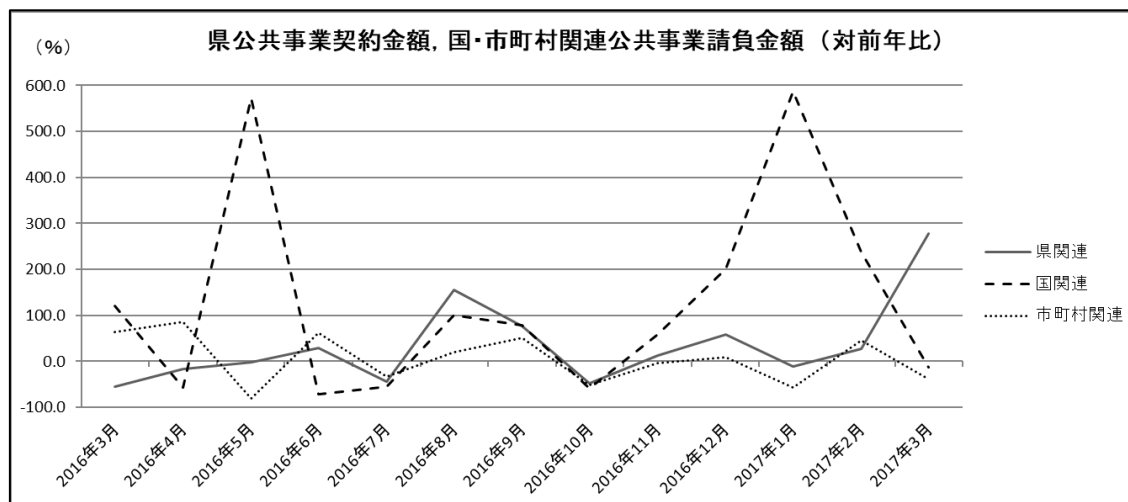
[今回のデータの考察]

- ・2017年1～3月の間、「持ち家」、「貸家」、「分譲」の住宅着工件数がやや不規則に増減しており、明らかな傾向は見取れない。今後の動向に注目する必要がある。

5. 公共投資

◆奈良県の公共事業請負金額

①前年同月比の推移



出典:奈良県

②直近の状況

単位(百万円、%)

対 象	2017年1月		2017年2月		2017年3月	
	金額	前年同月比	金額	前年同月比	金額	前年同月比
県公共事業等事業 施行契約済額	2,707	▲ 11.3	3,738	26.4	7,790	278.3
国関連 公共工事請負金額	3,149	586.6	2,733	237.7	1,445	▲ 12.3
市町村関連 公共工事請負金額	950	▲ 56.3	946	44.7	1,675	▲ 38.5

出典:奈良県

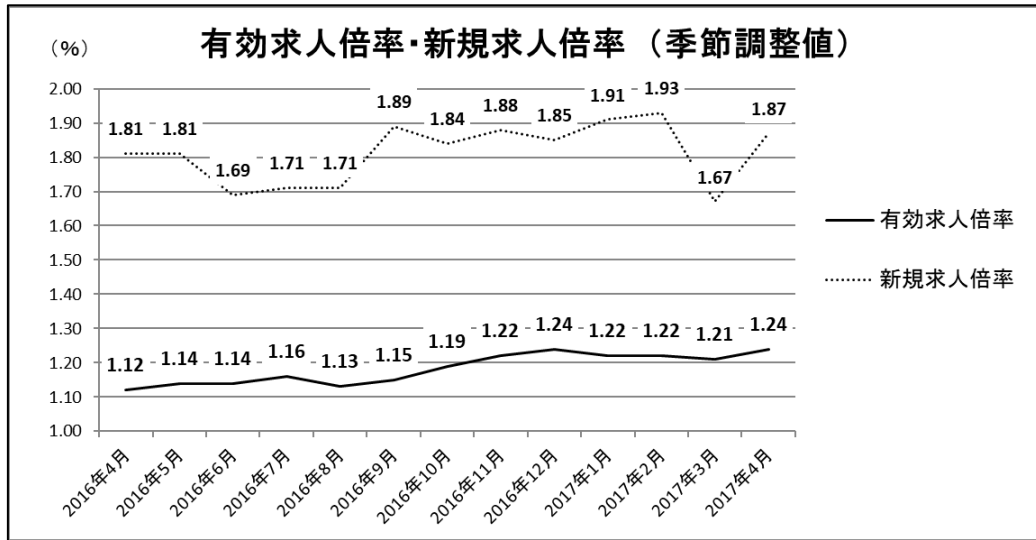
[今回のデータの考察]

- ・国関連の公共事業の前年同月比は、1月・2月に大幅な増加が見られた。
- ・奈良県関連の公共事業契約金額の前年同月比は、2月・3月がプラスで、特に3月に大幅な増加が見られた。

6. 雇用

◆奈良県の求人倍率

①求人倍率・季節調整値の推移

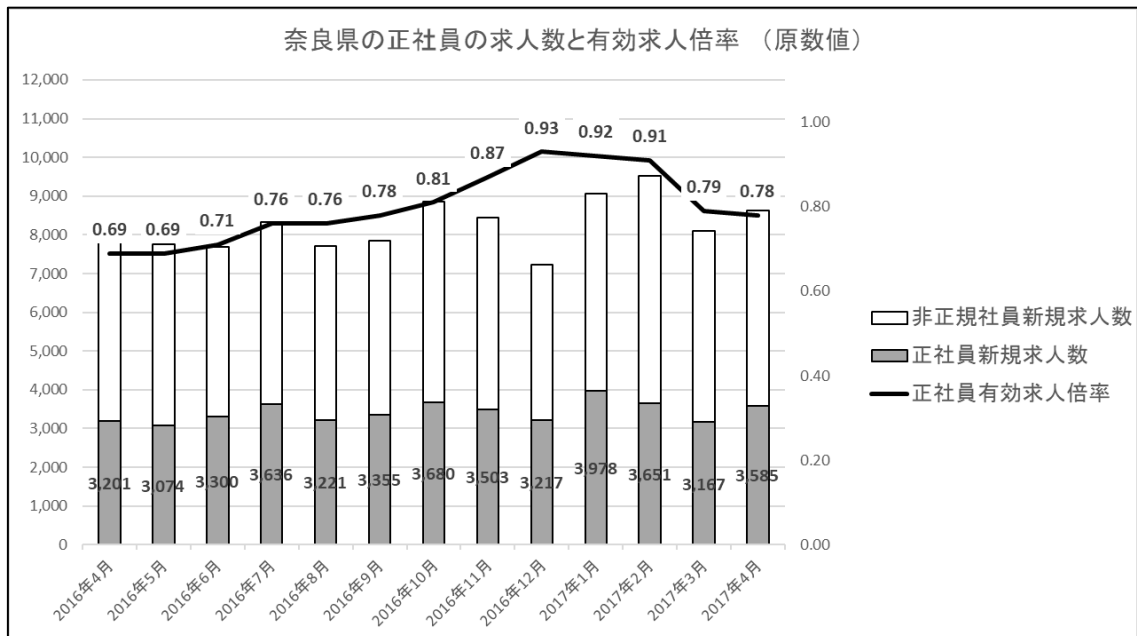


出典：奈良労働局

[今回のデータの考察]

- ・新規求人倍率は、3月に低下が見られた。
- ・有効求人倍率は、1月・2月が横ばいで、3月に少し下がったが、4月にまた上昇している。
- ・趨勢として、奈良県の雇用情勢は改善が続いている。

②正社員の有効求人倍率



出典：奈良労働局

[今回のデータの考察]

- ・4月の正社員有効求人倍率は3月よりも0.01ポイント低下したが、前年を0.09ポイント上回っている。正社員の求人数の増加が、好調の要因になっている。

以上